

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成20年5月15日 (2008.5.15)

【公開番号】特開2003-305805(P2003-305805A)

【公開日】平成15年10月28日 (2003.10.28)

【出願番号】特願2003-22283(P2003-22283)

【国際特許分類】

B 3 2 B 15/09 (2006.01)

B 2 9 C 47/06 (2006.01)

B 6 5 D 65/40 (2006.01)

B 6 5 D 1/00 (2006.01)

B 2 9 K 67/00 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 15/08 1 0 4 A

B 2 9 C 47/06

B 6 5 D 65/40 D

B 6 5 D 1/00 B

B 2 9 K 67:00

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月1日 (2008.4.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

融点が 180 以上の結晶性ポリエステルとオレフィン系ポリマーをブレンドした樹脂層を金属板の片面又は両面に被覆された樹脂被覆金属板の製造方法であって、

樹脂被膜がポリエステルとオレフィン系ポリマーのブレンド比率が 0 : 100 ~ 30 : 70 重量%のポリオレフィン系ポリマーであり、

T ダイから両端部と中央部のポリエステルとオレフィン系ポリマーのブレンド比率が 0 : 100 ~ 30 : 70 と重量% 70 : 30 ~ 99 : 1 重量%である層状に押出された熔融樹脂を冷却固化した後、両端部を切断除去する工程と、

樹脂膜を加熱された金属板にラミネートする工程よりなることを特徴とする樹脂被覆金属板の製造方法。

【請求項 2】

オレフィン系ポリマーが両端部と中央部で同一であることを特徴とする請求項 1 に記載された樹脂被覆金属板の製造方法。